
最後の藁

大西

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

最後の藁

【Nコード】

N5697H

【作者名】

大西

【あらすじ】

こてんぱんにされた勇者、魔王は今にも彼を殺そうとする。勇者は抵抗するのをやめて、自ら死を選ぶのだが……。

勇者は思います。もう駄目だ、魔王はあまりにも強すぎる、おれには無理だ。

彼は額から血をながし、利き腕が折れ、膝小僧を砕かれ、腹から血を流し、ついでに、どうやらふくらはぎを裂かれたようです。盾は砕かれ、剣は折れ、短剣は手元が狂って狙いを大きく逸れ、いまは手の届かないところにあります。勇者の心は盾と一緒に砕かれたらしく、もはや戦う意思を見せません。大地に転がって、ただ死を待ちます。

魔王の黒い影が勇者を覆います、おまえの負けだ、魔王の眼がそう言っています。勇者が抗うことを止めたのを見て、魔王の顔に満足げな笑みが広がりました。

最期くらいは、せめて堂々と死にたい、勇者は思います。きっとおれは誰にも見つけてもらえない。一人で悲しく逝くのだろう。魔王に痛めつけられる惨めな死は嫌だ。自分で尊厳ある死を選んだほうがましだ。そろそろと地に手を這わせ、折れた刃の欠片を手探ります。と、何か堅いものが手に触れます。彼はそれを掴み、目の前にかざして。

はん。

魔王が鼻で笑った。

はん。

勇者も、鼻で笑った。諦めきった笑みを浮かべて。彼が掴んだのは、一本の藁。

藁だ。藁！ 藁で何ができる？ こいつは傑作だ。藁だつて！

それは確かに藁でした。とても元気な藁でした。しゃんとした一本の藁。もちろん、魔王が勇者の意図に気付き魔法で変えたのです。勇者は藁を握り締めます。溺れる者は藁をも掴む 最後の藁（ファイナルストロー）、つてか。魔王にもユーモアセンスがあると

は知らなかった。さて、藁を手に入れた今。おれはどうするべきだろう。もちろん、藁をしっかりと掴むべきだ。

この一撃、最後の一撃。

勇者は最後の力を振り絞って身体を起こし、藁を魔王の目に突き立てます。

魔王は悲鳴をあげます。悲鳴を上げて、後によるめき、悲鳴はやがて狼狽の聲に変わります。

貴様、おれの弱点をどうして知っている。

こうして魔王は滅び、勇者は助かったのです。

最後には、いつだってどうにかなるのです。

(後書き)

溺れる者は藁をもすがる　といいますが、英語で
final(最後の)straw(藁)とは「最後の一撃」を意味
します。言葉つておもしろいです。神秘的です。

と、主題は言葉遊びなのですが、教訓的、精神的なものでもありま
す。わたし自身は教訓染みたものは嫌いなのですが……。
なにか感じていただければ幸いです。評価・コメントお待ちしております
ります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5697h/>

最後の藁

2010年11月6日13時39分発行